



学校通信

令和7年 4月30日
東京都立葛飾盲学校長
竹内 大吾
(第2号)

「こどもの日と個別指導計画」

校長 竹内 大吾

青葉を吹き渡る快い風が吹く頃となり、明日から5月を迎えようとしております。童謡“背（せい）くらべ”の冒頭の歌詞に「柱の傷は おととーしの 5月5日の背くらべ」とあるように、5月5日のこどもの日は、子供の人格を重んじ、幸福をはかるとともに、全ての子供の成長をお祝いする祝日です。

背くらべとは、令和の時代では御存じない方もいるかもしれませんが、子供の身長に合わせて家の柱に傷をつけたり、羽織のひもの長さで測ったりするなどして、子供の成長の記録を確認していくという江戸時代を起源とする日本の風習です。

さて、4月23日（水）からの個人面談では、子供たちの学校の様子をお伝えするとともに指導方針や個別指導計画の内容などについても御相談させていただきました。個別指導計画は、子供たち一人一人の一年間（前期・後期）の学習の目標と成果を確認するものであり、前期個別指導計画の目標作成時から、評価時までの間、どれだけ子供たちが成長したかを測る、背くらべのような側面もあります。

個別指導計画があることで、子供たちが目指す将来の姿に向けての第一歩が明確になったり、日々の生活の中で気付かなかった子供たちの成長した側面を客観的に把握したりすることができます。

また、子供たち自身が、「苦手なことができるようになった」、「次はこんなことを頑張りたい」、と自分でも気付いていない成長の部分や次の目標に気付いていくことも大切なことです。御家庭でも、子供たちと個別指導計画の内容について、話題にしてみる機会を設けてみるのも良いかもしれません。

5月5日の鯉のぼりは、鯉が滝を登って竜になるという中国の故事にちなんでおります。子供たちの将来に向けての大きな成長に向けて、学校と家庭と連携して取り組んでいければと思います。

「中学部新入生歓迎会」

4月22日（火）の5・6時間目に、新入生歓迎会を行いました。2・3年生の生徒たちは、短い準備期間の中で、新たに仲間入りした1年生に、どのようにして中学部の特徴を伝えるか、また、歓迎会を楽しんでもらうかを考え、話し合いを行ってきました。自己紹介や、サイコロを使ったゲームなどを行い、とても楽しいひと時を過ごすことができ、学年を越えた交流の良い機会となりました。今回の経験を通して、大きく成長した生徒たちの姿を見ることができました。



(文責：松下 翔)